

善利組・温故知新のまちづくり

芹橋地区は、足軽組屋敷などの歴史資源が散在し、いわゆる歴史的町並みをはっきりと目にはできないものの、そのまちの中に入ると、足軽たちが暮らしていた時代にタイムスリップしたような、城下町特有の心地よい閉塞感を感じる不思議なまちです。

彦根の都心にほど近いこのまちを、ヒューマンスケールな良さを保ちながら現代の暮らしを息づかせられないものか、また、残された歴史の記憶や地域の誇りをもう少し分かりやすく人々に紹介できないものか、そこから、都市での新しい暮らし方が見えてくるのではないかという考えから、芹橋地区のまちづくりを考え始めました。

【まちづくりの^{コンセプト}旗印】

温故知新

- ・地域のしくみを学び、資源を継承する
- ・新しさを加え、まちを活かし続ける

【まちづくり実現のしくみ】

◆ 基盤整備事業 ◆

- ・建築基準法や細街路整備助成制度等により幅員6mの骨格道路の整備を促進します。
- ・柔らかい区画整理事業により、空地、空家を地権者意向に応じて交換し、まちづくりの種地として活用します。

【まちづくりのしくみ】

(1) みちのしくみ

- ・骨格道路は消防水利サービスを満足する#状とします。特に通行円滑性を改善する堤防下のルートは早期整備を図ります。
- ・歴史的町並みを整備する地区中央部では、食い違い幅員2.7mのスケール感を保持します。

◆ 事業スキーム ◆

- ・まちづくり組織「善利組」を立ち上げ、足軽組屋敷等の土地家屋の活用計画作成～運用等、エリアマネジメントを行います。
- ・歴史観光についても善利組がガイドツアーを運営します。

(2) まち歩きのしくみ

- ・辻番所を要とする十字状の歴史のみちを中心にまち歩きを楽しむ周遊ルートを形成します。
- ・歴史のみち、堤防下の修景水路や堤防高にある展望所等により、夢京橋から芹川までを直結する観光軸を整備します。

(3) 歴史に住まうしくみ

- ・空地・空家を活用した足軽組屋敷工房や菜園が一体となった新しい歴史居住を提案します。
- ・辻番所付近はまちかど博物館として整備します。
- ・観光と生活のバランスは、ガイドツアーによりコントロールします。

(4) 水と緑の環境のしくみ

- ・堤防下の水路はホタルが飛び交うせせらぎとしていきます。
- ・背割り水路沿いの住戸では、雨水貯留により水資源の節約に貢献します。
- ・宅地や壁面の緑化に努め、都市の環境負荷の低減を図ります。